

# Lili

## LIBRARY LIFE

富山大学中央図書館ニュース

2010.7  
創刊号

## 中央図書館報の再刊に寄せて

附属図書館長 倉知正佳

この度、附属図書館報を中央図書館報として、再刊することにいたしました。近年、専門分野の電子ジャーナルの普及に伴い、図書館の役割も変化しつつあり、学生のさまざまな学習形態(個別学習、グループ学習、レポート作成など)に対応することが重視されるようになってきています。さらに、コミュニケーションの場としてラウンジ、プレゼンテーション・ルームや分野融合のカンファレンス・ルームがあつたりするのも現代の大学附属図書館の特徴です。中央図書館もこの方向に向けて、整備を進めていく予定で、将来構想委員会で検討中です。このように変化しつつある図書館の現況をお伝えし、学生や教職員など利用者からの声を図書館に反映させていくことが、図書館報を再刊する目的です。

この図書館報では、新たな企画として、「図書推薦コーナー」を設けることにしました。平成14年の中央教育審議会では、「各大学が、学生に和漢洋の古典を中心とした書物等のリストを提示し、その読破を求めることも奨励したい」と述べられています。このコーナーでは、それぞれの分野に造詣の深い先生に、古典に限らず、主に学部学生に向けて「私が薦めるこの1冊」を執筆していただくことにしました。学生諸君には、是非それをご一読されることを奨めます。

さて、図書館に関する本年度の年度計画の1つとして、「シラバス掲載図書を中心に学生用図書の整備を進める」を挙げてあります。昨年より、シラバス掲載図書の整備を進めた結果、平成21年度シラバス掲載図書の整備率は、中央図書館88.9%、医薬学図書館95.6%、芸術文化図書館100%で、3館平均では93.7%です。シラバスに掲載されている図書は、学生が手にとって読むことができるような学習環境を整備していくのが図書館の方針ですので、関係者のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## LibraryNote

「ライブラリーノート」コーナーでは、図書館の活動を紹介していきます。  
今回は図書館ツアーや利用説明会についてです。



ヘルン文庫見学

新学期が始まって早3か月。そろそろレポートや試験の時期ですね。みなさんはどのくらい図書館を活用していますか？図書館には授業学習やレポートの参考になる図書を中心に雑誌、新聞など様々な資料があります。それらを使いこなすはじめての一步として、4月から、主に新入生の皆さんを対象に図書館ツアーを実施しました。

ツアーでは実際に館内を歩いてまわり、基本的な図書館利用方法を説明しました。

また、富山大学蔵書検索OPAC(オーパック)の使い方や検索結果画面の見方を実習形式で解説しました。請求記号(図書の背表紙に貼ってあるラベル記号)の意味や検索のコツを知ってもらえたと思います。

最後に小泉八雲の旧蔵書をおさめた「ヘルン文庫」を案内しました。小泉八雲の生い立ちや人文・理学部の前身である旧制富山高校の歴史も踏まえながら、貴重なコレクションを見学して解散となりました。

図書館は、使えば使うほど新たな発見があると思います。授業期間中の平日は夜10時まで開館していますので、学習・研究・読書など大いに活用して下さい。

ツアーは随時受け付けています。内容や時間は相談に応じますので、授業単位もしくは学生さん同士でカウンターまでお問い合わせ・お申込下さい。

中央図書館ツアー 実施回数32回、参加学生数 590人(2010/7/1現在)



検索実習の様子  
1階マルチメディアコーナーにて

また6月16日には、化学系のオンラインデータベース「SciFinder(サイファインダー)」の利用説明会を開催しました。中央図書館では、みなさんが各種図書館資料を有効に活用できるような説明会を実施していきたいと考えています。開催が決定しましたら館内掲示やホームページでご案内します。

SciFinder利用説明会(五福キャンパス)参加者数 69人

## 私が薦めるこの1冊

人文学部長 山口幸祐

白川静著『漢字—生い立ちとその背景—』岩波書店、1970年

私たちが普段当たり前のように使っている「漢字」の考察から深遠な学問の世界に導く啓発的な著書であり、1970年の刊行以来、現在も読み継がれている古典的名著である。漢字の成り立ちから説き起こし、その歴史や、またその背後にある思想、文化を説き明かしていく方法は刺激的である。漢字には、人の生死(いきしに)、自然や神や祖先との関わり、その意味が刻まれていることに今更ながら驚かされる。

また、漢字の来歴や漢字にまつわる現代的な問題を100題取り上げた『漢字百話』(中央公論社、1978年)からも同じ世界を垣間見ることができるし、やや専門的になるが、どの章から読んでも知見が得られる『漢字の世界1, 2—中国文化の原点—』(平凡社、1976年)では漢字学の豊饒な世界に浸ることができる。

白川学、白川文字学と一般的に言われる学問世界は中国文化のみならず、日本文化、東アジア文化、さらには人間と文化を考える世界に私たちを導いて行く。

今回お薦めの図書は…



漢字：生い立ちとその背景 / 白川静著  
(岩波書店) 1970  
請求記号 821.2||Sh6.7||Iw  
中央図書館北2階 に配架しています

## ようこそ図書館へ！

中央図書館内には、さまざまな学習スペースがあるのをご存知でしょうか？

今回は、中央図書館の2階をご紹介します。

正面玄関側のらせん階段を上がると、自由閲覧室があります。この場所にある机や椅子は使いやすいよう移動させて、自由に組み合わせて利用することもできます。



自由閲覧室の横には、文庫・新書の棚があります。OPACで検索したときに「中央図書館北2階」と表示されたらこの場所です。左のコーナーで紹介されたお薦め図書も、この書架に並んでいます。

また、北2階には、新聞の縮刷版や地図もあります。



今回紹介した場所はこちらです。

今まで図書館にあった机や椅子とはすこし違った雰囲気のものを用意した場所になっているので、ぜひ図書館に立ち寄って、利用してみてくださいね！

## 図書館からのお知らせ

### ・シラバス掲載図書、入れます！

図書館では、シラバスに掲載されている教科書・参考書を購入しています。この他に学習に必要な図書があれば、カウンターに設置されている「購入希望図書申込書」に記入し、ご提出下さい。

### ・7月30日(金)より夏季休業に伴う長期貸出を行います。

学部学生・研究生：7月30日(金)～9月28日(火)

大学院生：7月30日(金)～9月13日(月)

この期間に貸出をした図書は返却期限が10月12日(火)になります。どうぞご利用ください！

### ・レファレンス・サービスについて

カウンターでは、図書館の利用の仕方、資料の探し方などに関するご質問を随時受け付けています。

困ったときは何でもお尋ね下さい。

名前  
募集中  
です！



【編集後記】 富山大学中央図書館ニュース「LiLi(りりい)」ついに創刊されました！これからみなさんに、ホットな話題をたくさんお届けしていきますので、どうぞよろしくお願ひします。Let's enjoy Library Life!! (Ai)

編集・発行 富山大学附属図書館中央図書館

〒930-8555 富山県富山市五福3190 TEL076-445-6898/FAX 076-445-6902

●附属図書館URL <http://www.lib.u-toyama.ac.jp/index.html>

●中央図書館URL <http://www.lib.u-toyama.ac.jp/chuo/index.html>

●携帯版URL <http://osirabe.net/opac.u-toyama/> (右のQRコードからもアクセスできます→)



### ◇中央図書館開館カレンダー◇

通常開館 8:45-22:00

休日開館 10:00-17:00

短縮開館 9:00-17:00

短縮開館(8/12・13) 10:00-17:00

赤字は休館日です

7月							8月							9月							
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
			1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
5	6	7	8	9	10	11	9	10	11	12	13	14	15	16	8	9	10	11	12	13	14
12	13	14	15	16	17	18	16	17	18	19	20	21	22	23	15	16	17	18	19	20	21
19	20	21	22	23	24	25	23	24	25	26	27	28	29	30	22	23	24	25	26	27	28
26	27	28	29	30	31		30	31							29	30					

